

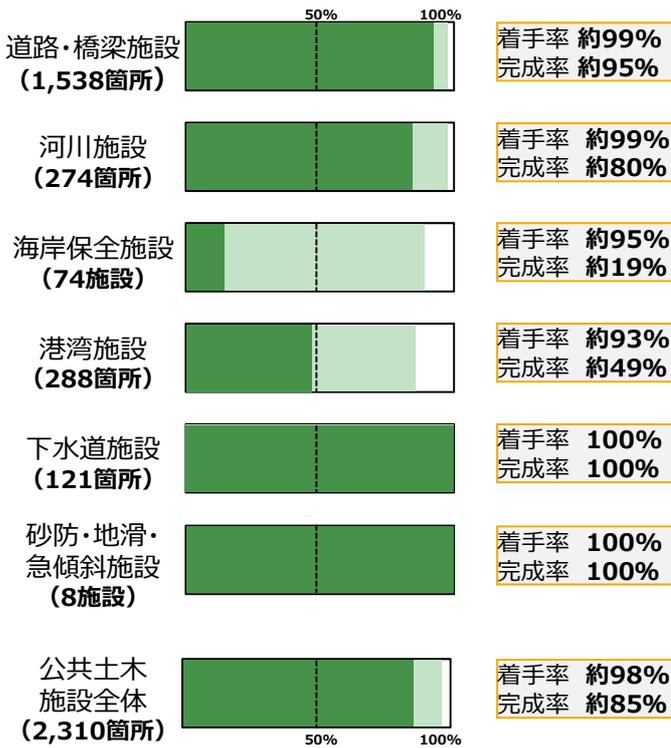
contents

- ・復旧・復興事業の進捗状況【平成28年2月末現在】
- ・復興トピックス(平成27年12月中旬～平成28年3月中旬)
- ・みやぎの社会資本-2015年度10大ニュース-



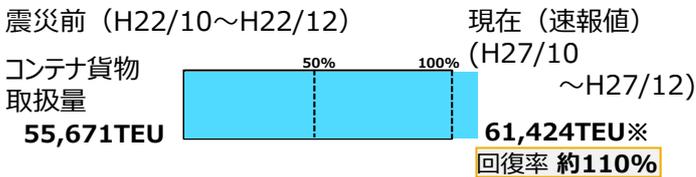
復旧・復興の進捗状況【平成28年2月末現在】

●災害復旧工事の進捗状況



■ 着手率：工事請負契約を締結したもの
■ 完成率：工事が完了したもの

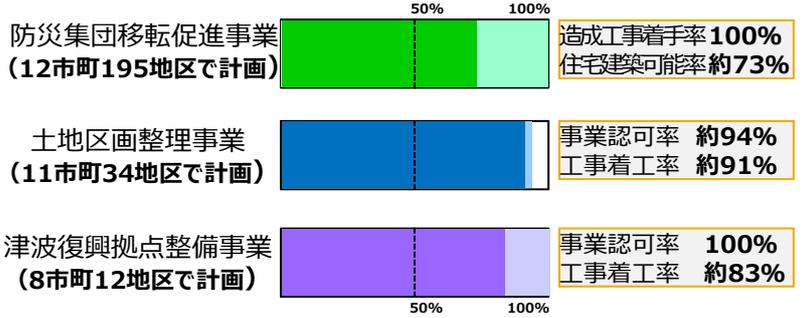
●仙台塩釜港（仙台港区）コンテナ貨物取扱量



■ 回復率：震災前(H22/10～H22/12)に対して現在(H27/10～H27/12)のコンテナ取扱量(TEU)の割合

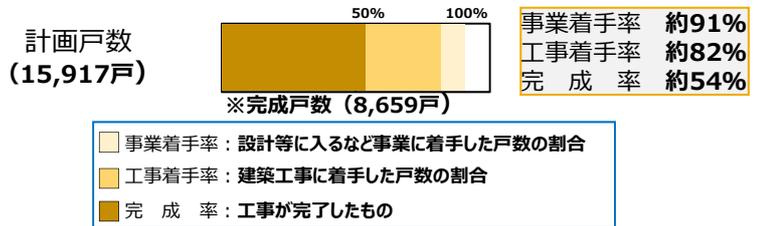
※TEUとは20フィートコンテナ1個分相当を示す単位

●復興まちづくり事業の進捗状況

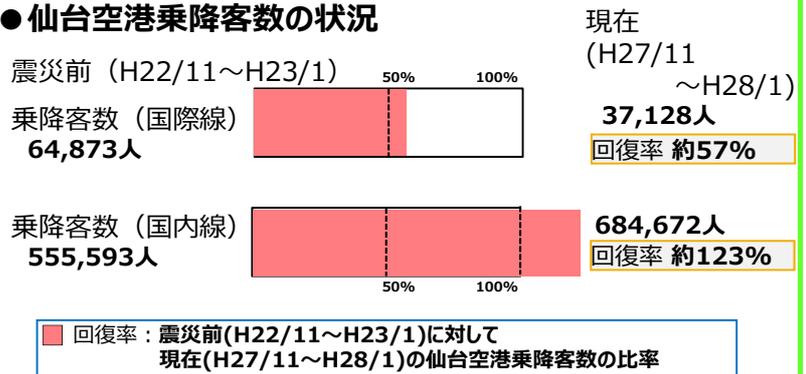


■ 造成工事着手率：工事請負契約の締結などが完了した地区数の割合
■ 住宅建築可能率：造成工事が完了するなど住宅等建築工事が可能となった地区の割合
■ 事業認可率：事業計画が知事の認可を受けた地区数の割合
■ 工事着手率：施工業者が事業用地内の工事に着手した地区の割合

●災害公営住宅の整備状況



●仙台空港乗降客数の状況



▲宮城県では、毎月復興の進捗状況を取りまとめて公表しています。詳しくは下記URL又はQRコードを参照願います。

・震災復興・企画部震災復興政策課ホームページ「復興の進捗状況」

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/shintyoku.html>

・土木部土木総務課ホームページ「東日本大震災からの復旧・復興事業の進捗状況」

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/doboku-sintyoku-press.html>



復興トピックス (平成27年12月中旬 ～平成28年1月)

12月

●12/15～17 舞根トンネル銘板に寄せ書き ～唐桑小学校～

●12/19 第6回復興加速化会議

東日本大震災の復興事業の課題や対策を話し合う第6回復興加速化会議が開催されました。会議には石井啓一国土交通大臣ほか国土交通省の幹部職員や村井嘉浩知事、岩手県知事、福島県副知事、仙台市長などが出席し、工事の入札不調対策などについて話し合いが行われました。

●12/20 仙台東部道路「名取中央スマートIC」着工式

名取中央スマートICは仙台東部道路「仙台空港IC～名取IC」間に位置しており、周辺道路の渋滞緩和、物流拠点機能強化や企業誘致による雇用の創出など、地域の産業経済に大きな波及効果が期待されています。

●1月 仙台塩釜港コンテナ取扱量が 過去最高記録を更新

●1月 仙台空港アクセス鉄道乗降客数 過去最高記録を更新

●1/22 宮城県住宅・社会資本 再生・復興フォーラム開催

●1/27 南三陸町伊里前地区災害公営住宅 完成引き渡し

●1/30 常磐自動車道「山元南スマートIC」着工式

「山元南スマートIC」は常磐自動車道「山元IC～新地IC」間に位置しており、搬送時間の短縮による周辺地域の企業誘致の展開や、関東方面からのアクセス性の向上による観光客の増加などが期待されています。

●12月15日～17日 舞根トンネル銘板に寄せ書き ～唐桑小学校(気仙沼市唐桑)～

東日本大震災により被害を受けた気仙沼市舞根・浦地区において防災集団移転促進事業による住宅団地へのアクセス道路として、県道 気仙沼唐桑線「東舞根復興道路」の整備を進めています。

復興道路の供用開始を前に、近隣の唐桑小学校へ通う児童たちに自分の住むまちの復興の姿に関心を持って貰うことを目的として、トンネル銘板の裏面に将来の夢などを寄せ書きをするイベントを開催しました。



●2月10日 仙台国際貿易港首都圏セミナー開催

仙台塩釜港の近郊には、自動車関連産業が集積しているほか、交通ネットワークの充実やモーダルシフトの進展等もあり、今後、さらなる発展が期待されています。このような状況を踏まえ、仙台塩釜港のさらなる飛躍を目指し、今年度もセミナーが開催されました。

セミナーでは、宮城県による仙台塩釜港の紹介や仙台塩釜港を利用している荷主企業等による講演が行われました。



●2月12日 仙台空港とグアム国際空港との 姉妹空港提携の覚書を更新

グアム国際空港内において、仙台空港とグアム国際空港との姉妹空港提携の覚書を更新する調印式を行いました。

両空港は、平成24年に姉妹空港提携の覚書を締結しており、今回は、仙台空港及びグアム国際空港の友好関係を発展させ、情報交換や文化交流等を通じて、宮城県及びグアム両地域の平和と繁栄を目指すことを目的としています。



●1月22日 宮城県住宅・社会資本 再生・復興フォーラム開催

本フォーラムは、宮城県における震災復興の取組を広く発信するとともに、その取組を宮城のさらなる発展に繋げていくことを目的として、震災後2年目の平成24年度から毎年開催しています。4回目となる今回のフォーラムでは、東日本大震災からまもなく5年を迎える今、現在の復旧・復興状況についての報告が行われました。また、講演では「東日本大震災から真の復興を果たすために」と題して、増田聡教授(東北大学大学院震災復興研究センター長)から御講演を頂き、これまでの震災への検証を踏まえながら、真の復興を果たすために、今後5年間で何をすべきかなどについての提言を頂きました。



復興トピックス (平成28年2月～3月中旬)

2月

●2/10 仙台国際貿易港首都圏セミナー開催

●2/16 仙台・東京間

国際フィーダーコンテナ定期航路 新設

仙台塩釜港(仙台港区)と京浜港(東京港)を結ぶ国際フィーダーコンテナ航路※(内航フィーダー航路)が、新たに開設され、過去最高の9航路となりました。

これにより、国際フィーダーコンテナの取扱量が“国内NO.1”(H26実績)の仙台塩釜港の利便性が、更に向上することが期待されています。

※京浜港などの国内主要港で外資コンテナ船に積み替えられて輸出入されるコンテナの国内輸送を担う航路。

●2/19 雄勝港「浪板防潮堤」完成式

浪板防潮堤は東日本大震災により被災した雄勝港(石巻市雄勝町)の防潮堤としては、最初に完成するものです。また、浪板防潮堤の前面の砂浜は海水浴スポットとなっていることから、地域住民、地域づくり支援団体「ナミタ・ラボ」の意見を取り入れ、防潮堤の階段部分や展望スペースには、地域住民自ら加工した玄昌石を使った波板地区らしい意匠が施されており、地域の方々と一緒に作り上げた防潮堤となっています。

●3/4 気仙沼警察庁舎完成

●3/5 仙台湾南部海岸完成式

●3/12 県道 古川松山線「志田橋」供用開始

●3/15 多賀城市鶴ヶ谷地区

災害公営住宅新築工事完成引き渡し

●3/19 常磐自動車道「鳥の海スマートIC」開通

亘理町とNEXCO東日本仙台工事事務所において整備を進めてきた常磐自動車道「鳥の海スマートIC」が開通しました。鳥の海スマートICは亘理町の中心部に位置し、近隣には、亘理中央地区工業団地、観光地の鳥の海などがあり、企業誘致や雇用の促進、観光集客の増加などが期待されます。

●3/19 平成27年度貞山運河「桜」植樹会

～復興・そして未来へ～

●3/25 女川みなとびらき・湾口防波堤完成式

●3月4日

気仙沼警察庁舎完成

気仙沼市南郷にあった気仙沼警察署は、東日本大震災の津波で浸水し使用不能となり、仮設庁舎で業務を行ってきました。

新庁舎は旧庁舎から約500m離れた気仙沼市赤岩杉ノ沢(旧鼎が浦高校跡地)に移転新築され3月22日から業務を開始しました。



●3月12日

県道 古川松山線「志田橋」供用開始

平成19年度から橋りょうの架け替え整備を進めてきた県道古川松山線「志田橋」が、供用を開始しました。県道古川松山線は、緊急輸送道路にも指定されている重要な路線であり、東日本大震災では、架け替え前の「志田橋」の橋梁本体や橋りょう前後の道路が被災し通行止めになるなど、改めて防災上の重要性が確認されました。新たに架け替えられた「志田橋」の供用開始により、災害に強く、安全・安心で快適な交通が確保されます。



●3月19日

平成27年度貞山運河「桜」植樹会

～復興・そして未来へ～

貞山運河への桜植樹は、東日本大震災からの復興の象徴となるとともに津波防災意識の醸成や未来への震災体験の伝承を目的として官民連携で取り組むことを基本としています。

植樹会は平成24年度から実施しており、今年度は多賀城市貞山公園で植樹会を開催しました。



●3月15日

多賀城市鶴ヶ谷地区

災害公営住宅完成引き渡し

多賀城市鶴ヶ谷地区で整備を進めていた多賀城市内で最大の災害公営住宅が完成し、入居式が行われました。完成した住宅は、鉄筋コンクリート造4～8階建て274戸で、すでに入居が始まっています。



▲他の地区の災害公営住宅の整備状況については、復興住宅整備室ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukujuu/>

① 5月30日 仙石線全線運転再開及び

仙石東北ライン開業

東日本大震災により甚大な被害を受け一部不通となっていた仙石線は、5月30日に「高城駅」～「陸前小野駅」間の運転を再開し、「あおば通駅」～「石巻駅」間の全線運転再開となりました。

また、東北本線と仙石線間に両線を結ぶ接続線を整備、仙石東北ラインとして開業いたしました。本線の開業により仙台～石巻間が最短52分で結ばれることとなりました。



② 6月6日 川内沢川放水路竣工

川内沢川沿川では、平成6年9月22日集中豪雨により名取・岩沼両市で甚大な浸水被害がありました。この被害を契機に総合的な治水安全度の向上を図るため、河道拡幅に加え、上流に川内沢ダム、仙台東部道路より下流では放水路を整備する計画とし、平成7年度より放水路の建設に着手しました。

この度、事業着手から約20年の歳月をかけ、川内沢川放水路が完成したことから6月6日に竣工式を行いました。



③ 7月19日 岩沼市玉浦西地区 玉浦西まち開き

岩沼市玉浦西地区は平成24年8月から土地の造成工事、平成26年4月から災害公営住宅の整備に着手しました。平成27年2月には、鍵の引き渡し式が開催され、完成した住宅の引き渡し・入居が始まりました。そして、7月19日「玉浦西 まち開き」が開催されました。



④ 9月 関東・東北豪雨による甚大な被害が発生

平成27年9月10日夜遅くから11日明け方にかけて、東北地方や関東地方に発達した積乱雲が停滞し、各地で観測史上最高の記録的な豪雨となりました。宮城県には、東北地方では初となる大雨特別警報が発表され、県内陸部を中心に大きな被害が発生しました。



⑤ 11月15日 国道108号 花洲山バイパス開通

国土交通省と県が整備を進めてきた国道108号花洲山バイパスが平成27年11月15日に開通しました。今回の開通により、災害に強く、安全・安心で快適な交通が確保され、宮城・秋田両県の連携強化と交流促進、地域の産業経済の活性化や観光振興が期待されています。



⑥ 12月1日 仙台空港運営権者が決定

県は仙台空港のさらなる発展と周辺地域の活性化を目指し「仙台空港民営化」を進めてきました。12月1日、国土交通省と仙台国際空港(株)が公共施設等運営権実施契約を締結しました。今後、空港の更なる利用客の増加と地域の活性化が期待されています。



⑦ 1月 仙台空港アクセス鉄道利用者数 過去最高を記録 仙台空港乗降客数 3年連続300万人を突破

平成27年1月～12月における仙台空港アクセス鉄道利用者数について、開業以来最高の336万人を記録しました。また、仙台空港の乗降客数は、3年連続300万人を突破し、今年度は315万人を記録しました。

⑧ 1月 仙台塩釜港コンテナ貨物取扱量 22万TEU突破 震災以降最高を記録

平成27年1月～12月における仙台塩釜港コンテナ貨物取扱量は、約22万5千TEUを記録しました。22万TEUを記録するのは、仙台塩釜港においてコンテナ貨物の取扱いを開始して以来、初めてであり過去最高の取扱量となりました。

⑨ 3月5日 仙台湾南部海岸完成式

東日本大震災で被災した仙台湾南部海岸の堤防復旧工事は、延長L=29kmのうち9割以上が完成し、残る区間についても平成28年度内の完成予定となっています。完成式では、主催者である石井国土交通大臣、村井知事の挨拶の後、来賓者の方々から祝辞があり、事業経過説明の後、地元の仙台市立荒浜小学校児童による「大好きな荒浜の海」と題した作文の朗読があり、完成を祝いました。



⑩ 3月25日 女川みなとびらき・湾口防波堤完成式

東日本大震災の津波により、女川湾内の漁港・港湾施設は甚大な被害を受け、県は災害復旧事業などにより施設の復旧を進めてきました。この度、県内唯一の津波防波堤である女川湾口防波堤が完成し、漁港・港湾施設も概成する運びとなり、復旧に御協力頂いた関係者の皆様へ感謝の意を表するとともに、女川町の復興を地域の皆様に広くお伝えするため、完成式典を開催しました。



○記事に関する問い合わせ○

宮城県土木部土木総務課企画調整班

TEL : 022-211-3108

E-mail : dobokgk1@pref.miyagi.jp

HP : <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/>